

第七十三回
帝國議會
貴族院

有價證券業取締法案特別委員會議事速記録第三號

昭和十三年三月七日(月曜日)午後一時三十九分開會

○委員長(子爵保科正昭君) 一昨日ニ引續

キマシテ是ヨリ委員會ヲ開キマス、本日ハ逐條ニ互リマス政府ノ説明竝ニ委員ノ質問ヲ終リマシタ故ニ、全般的ニ互ッテ御質問委員ニ御願ヒ致ス積リデゴザイマス、ドウゾ御發言ノ方ハ御申出ヲ願ヒマス

○武井覺太郎君 私ハ此ノ有價證券ノ現在ニ於キマスル所ノ總數ノ上ニ於キマシテ取引所ニ上場サレテ居リマスノハ十五「パーセント」デアッテ、其ノ他ノ八十五「パーセント」ハ此ノ有價證券業者ニ於テ取扱ハレテ居ルヤウナ現在ノ狀態デアリマスカラシラ、此ノ取扱ニ於キマシテ適正ヲ得ルト否トハ非常ナ利害關係ガアルコトデゴザイマスカラ、成ルベクハ此ノ取引所所在地ニ於キマシテハ有價證券業者ヲ集中サセテ取引ヲセサルコトガ、最モ出合モ宜クシ、公正ナ價格ヲ得ル上ニ於テ必要デアリマスカラ、現在ノ取引所ノ取引員以外ニ、乙種實物專業取引員トカ云フヤウナモノヲ設ケテ、取引所ニ包容シテヤルト云フコトハ出來ナイモノデゴザイマセウカ、然カシマスレバ、

値段ノ上ニ於キマシテモ集中シマスレバ、出合モ宜クナリ、又公正ヲ得ルト云フコトニナル、現在ノ如ク各業者ガ區々ニヤリマスレバ、取引所ニ上場サレヌ證券ハモウ相對相場ト云フヤウナモノニナッテ、賣リト買ヒトハ非常ニソコニ隔タリガアルト云フヤウナコトデ、證券ノ賣買ノ上ニ於テ非常ナ不利益ガアリマスルガ、其ノ點ニ付キマシテハ政府ノ御考ハ如何デゴザイマセウカ、御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○政府委員(木暮武太夫君) 御答ヲ申上ゲマスガ、只今ノ總テノ有價證券ヲ取扱ヒマスル者ヲ取引所ノ中心ニシテ隸屬セシメヨウト云フヤウナ御意見ハ、先日來モ御質問ガゴザイマシテ、一應ハ御尤ニ承ルノデゴザイマス、現在ニ於テ此ノ法律ヲ必要ト致シマスル有價證券業者ト云フモノト取引所取引員ト云フモノトハ、信用、資産或ハ經歷其ノ他ノ點ニ於キマシテ非常ナル差ノアリマスコトハ、御手許ニ配付致シマシタ日本橋稅務署管内ダケノ有價證券移轉稅ノ納付稅額別ノ人員調ニ依リマシテモ、能ク御分リ下サイマスルヤウニ、例ヘバ五圓以下ノ税金ノ場合ニ於キマシテハ、取引員ノ方

ハ僅カ八人デ、現物ヲ取扱ッテ居ル方ハ百五十人モアルト云フヤウナ譯デゴザイマスガ、之ヲ百圓ヲ超ス金額ノ納稅者ニ付テ見マスルト、逆ニ取引員ノ方ガ八十八人デ、其ノ十一分ノ一ノ僅ニ八人ダケガ現物業者デアルト云フヤウナ工合ニ、可ナリ、有價證券ノ現物ヲ扱ッテ居ル者ト取引所取引員ト云フモノトハ、其ノ仕事ニ於キマシテモ、信用トカ經濟上ノ力ト云フヤウナモノガ違ッテ居リマシテ、將來ノ問題ト致シマシテハ一應御尤ノ御意見デゴザイマスノデ、篤ト當局ト致シマシテモ研究、考覈ヲ遂ゲタイト考ヘテ居リマスガ、差當ッテ世間動トモスルト有價證券業者ノ不正不法ナル行爲ニ依リマシテ、一般大衆ノ利益ヲ害セラレルコトニ依ッテ、何トカ茲ニ取締ノ防壁ヲ設ケナケレバナラスト云フ其ノ趣旨ヲ體シマシテ、差當ッテ早く取締法規ヲ作りタイト云フ意味デ、此ノ法律ヲ作りマシタヤウナ譯デゴザイマス、差當ッテハ、當局ト致シマシテハ御意見トハ違ヒマスケレドモ、有價證券業者ヲ取引所ニ隸屬サセヌデ、別ニ取扱ッテ行キタイ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマス、將來ニ於キマシテハ其ノ點ハ篤ト一ツ研究考

覈ヲ遂ゲテ見タイト考ヘテ居リマス

○男爵福原俊丸君 一般的ノ一ツ御意見ヲ聽クノデアリマスガ、多少私ノ意見モ入ルカモ知レマセヌケレドモ、私ハ餘リ斯ウ云フモノヲデスネ、取締ルト云フコトガ一體本當ニ出來ルモノカドウカ、斯ウ云フ詰リ呑屋仲間ニ持ッテ行ッテ、被害ヲ受ケルノハ、其ノ人ノ不注意カラ起ル、不注意カ或ハ事情モアリマセウケレドモ、例ヘバ是ハ別ナ例デアリマスケレドモ、私ハ斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマス、日本ノ警察ハ紛失物ハドンナ物デモ外國ト違ッテ直グ出シテ呉レル、云フコトハ非常ニ日本ノ誇ニナッテ居ルヤウデアアル、ケレドモ、物ヲ紛失スルト云フコトハ其ノ人ノ不注意デアアル、ダカラ、其ノ紛失シタ物ハ出ナイト云フコトニナレバ、其ノ人ハ注意スルコトニナル、コシナコトハ一面國民ノ自覺ヲ促シテヤラナケレバナラス、詰リ取締法案ヲ作レバ、其ノ取締法案ガ非常ニ隅々マデ行渡レバ宜イケレドモ、サウデナケレバ、矢張り取締法案ヲ作ッテモ、ソレヲ又脱ケテヤルコトニナル、現在私ハ兜町アタリノ町ヲ行ッテ見テモ、隨分呑屋ガヤッテ居ル、ケレドモ、ア

レナンカハ詰リ警察ヲ取締レバ取締ラレルト思フケレドモ、矢張り取締ラズニヤッテ居ル、カラ、今度此ノ法案ヲ御出シニナル御趣意ハ、本當ニソレヲ取締ッテ行カウト云フノカ、詰リ一切賭博行爲ヲスルヤウナ者ハ片ツ端カラ引括ッテシマフト云フノカ、或ハ一面有價證券移轉稅ヲ出サセルカラシテ、今迄見タイニ放任スルヨリモ、何トカシタ方ガ宜カラウト云フヤウナ、極ク軟カイ、マア不徹底ナ御考デアルノカ、其ノ邊ノ大體ノ御方針ヲ一ツ承リタイ

○政府委員(木暮武太夫君) 福原男爵ノ御質問ハ一應御尤デゴザイマスケレドモ、現在ニ於キマシテモ刑法其ノ他ノ法律ニ依ッテ取締ヲ爲シ或ハ之ヲ詐欺橫領其ノ他ノコトニ依リマシテ罰スル法規ト云フモノハ相當ニゴザイマスケレドモ、年々何百人ト云フ犯罪者ガ出テ居リマサウナ譯ナンデゴザイマス、ソコデ今回ノ法律ハ唯徒ラニ罰スルコトヲ嚴重ニスルヨリハ、サウ云フモノヲ取扱フ人ヲ制限ラシテ、サウシテ本當ニ信用、資力、經歷ノ相當ニ尊重シ得ベキ者ダケニ有價證券業ヲ營マシメルト云フヤウニヤリマスコトガ、現在罰スル法律ニハアリマスケレドモ、之ニ掛ル人ガ年々何百人アルト云フヨリハ、寧ロ免許ニ依ッテサウ

云フヤウナ仕事ヲスル人ヲ制限スル方ガ宜イノデヤナイカ、サウ云フヤウナ意味デ、免許ヲ主眼ト致シマシテ此ノ法律ヲ作りマシタヤウナ譯デアリマス、一般大衆ハサウ云フヤウナモノニ掛ルト云フコトハ、自分達ノ無知識ト申シマスカ、不道德的ナコトガ多大ノ原因デアルト云フコトハ、是ハ申ス迄モナイノデアリマスケレドモ、政府ト致シマシテハ、既ニサウ云フ營業ヲヤッテ居ル者ガアルト致シマスルナラバ、第三者ヲシテ信頼セシメ得ベキ者ニ限ッテ營業ヲヤラシテ行クト云フコトガ、年々數百件生ズル所ノ犯罪ヲ防止スル所以デモアリ、一般公衆ノ利益ヲ保護スル所以デモアルト考ヘマシテ、本法ヲ制定致シタイト考ヘテ居ルヤウナ譯デアリマス

○男爵福原俊九君 一昨日外ノ委員ノ方カラモサウ云フ話ガアッタト思ヒマスケレドモ、東京稅務監督局管内デモ千二百二十名、大阪稅務監督局管内デモ千四百名、兎ニ角サウ云フヤウニ千人モアルヤウナコトデスガ、有價證券ヲ賣買スルノニ、サウ多人數ノ人ハ要ルマイト思フ、サウ居ナクッテモ有價證券ノ融通ニハ不都合ハアルマイト思フ、ソレデ當局デハ東京ヤ大阪デドノ位ノ程度アレバ差支ナイト云フ御見込デスカ、是ハ

詰リ届出カラ出テ來タ數ダト思ヒマスカ、實際届出ラセズニ現在ヤッテ居ルノハ餘程多イダラウト思ヒマス、ソレカラ今日頂戴シタノヲ今見マシテモ、此ノ納稅額ノ五圓以下トカ十圓以下トカ三十圓以下トカ云フノハ、現物ノ方ノ側デハ非常ニ多イ、コンナ者ガ居ルカラ、實際トシテハ資力ガ薄弱デ、詰リ害ガ有ッテ利益ガ無イト云フヤウナコトニナルノデヤナイデスカ、デスカラ、寧ロ非常ニ嚴選スルト云フ方針デ取締法案ヲ作ル方ガ矢張り大局カラ云ッテ利益ヂヤナイノデスカ、個人ノ利益、詰リ此ノ有價證券ヲ今迄取扱ッテ居ル者ノ利益ヲ圖ルト云フ點ヨリモ、ソナ無資格者ガ多イカラコソ「インチキ」ヲヤルノダカラ、其ノ邊ガハッキリシナイト、矢張り將來許ス上ニ於テ大變標準ガ違ッテ來ルト考ヘラレマスガ……

○政府委員(木暮武太夫君) 只今ノ福原男爵ノ御話ノ中ノ、東京デ千幾ラ、大阪デ千何人ト云フヤウナ御話ガゴザイマシタガ、ソレハ詰リ東京ヲ中心トシタ關東一帯ト云フ稅務監督局管内ノ意味デゴザイマシテ、東京ダケデ見マス五百ニ足リナイ、大阪デモ四百六十七人位ヤッテ居リマス、ソレカラ一體大阪トカ東京トカ云フモノデドノ位ノ人數ガ適當デアルト云フ風ニ考ヘテ居ルカト

云フ御質問デゴザイマシタガ、是ハドノ位ノ人數ガ適當デアルカト云フコトハナカナカムツカシイ問題デゴザイマシテ、信用、資力或ハ經歷其ノ他ヲ標準トシテ、大體經濟情勢ヲ考ヘ、又有價證券ノ取引高ト云フモノモ考ヘマシテ、適當ナル人ヲ免許ヲ致シタイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○男爵福原俊九君 私ハ此ノ事情ヲ能ク知リマセヌカラ、或ハ無理ナ質問カモ知レマセヌケレドモ、大體有價證券ヲ取引スル者ガ損失ヲ受ケルト云フコトハ、少シ注意スレバ、ソナコトハナイヤウニナルベキモノデヤナイデスカ、今言ッタヤウニ、初カラ知ッテ居ッテ引掛ッタト云フヤウニ我々ニハ思ハレマスガ、一體事實ハドンナモノデスカ、事實ヲ知ラヌト分ラヌデスカ……

○政府委員(新倉利廣君) 全ク仰セノ通りデゴザイマシテ、色々犯罪デ檢舉サレマシタ情況等ヲ見マスルト、ドウモ後デ見マスレバ、常識的ニサウ云フコトヲ頼ムノハオカシイデヤナイカト云フ風ニ思ハレマスヤウナ不正行爲ト云フモノガ相當アルノデアリマス、ト申シマスノハ、或ハ御承知デモゴザイマセウケレドモ、新聞アタリニ所謂理財協會ト云フヤウナ名前デ、一箇月ニ二割三割ト云フヤウナ利益ガアルカラト云フノ

デ、各地方カラ零細ナ金ヲ集メテ一ツノ相當
大口ナ犯罪ガアツキヤウナ例ハ恐ラク御記
憶ニアルト思ヒマス、是ナドハ普通ノ常識
デ一箇月ニ二割三割ノ利廻ト云フコトハ考
ヘラレナイノデス、處ガ矢張りソコハ何ト
申シマスカ、淺ハカト云ヒマスカ、ヒョイ
ト信用出來サウナ文句ガ書イテアリマス
ト、矢張りソレニ釣ラレマシテ、サウ云フ
モノヲ利用スルト云フノモ相當ゴザイマシ
テ、例ヘバアノ理財協會ニシテモ、何十萬
或ハ何百萬ト云フ損失ヲ一般ニ掛ケテ居ル
ト云フ狀態デゴザイマス、ソレカラ今、サ
ウ云フモノデナシニデモ、先日モチヨット申
上ゲマシタヤウニ、株券ヲオ前ガ持ッテ居タ
ノデヤ、ソレハ素人デウマク運用出來ナイ
カラ、自分ニ預ケナサイ、自分ノ所デ、株
ノ管理ヲシテ配當ヲ幾ラヤル、ダカラ、預
ケナサイト言ハレルト、矢張りサウ云フモ
ノカト預ケテ、ソレデ騙取サレルト云フ例
モゴザイマスシ、ソレカラ所謂ボロ株デゴ
ザイマス、是ナドデモ中ニハ可ナリ巧妙ニ、
例ヘバ日本産業ト云フノニ對シテ、何カ私
モハッキリ知リマセヌガ、ソレニ似タ名前ヲ
附ケマシテ、ソレヲ日本産業デアルカノ如ク
裝ウテ相當ノ値段デ賣ル、所謂ボロ株ノ販
賣、斯ウ云フモノモ後デ見マスレバ、如何

ニモ常識カラ考ヘラレナイヤウナ事柄ニ依
リマシテ、株券ナリ金錢ヲ騙取サレテ居ル
ト云フノガ随分多イノデゴザイマシテ、仰
セノ通りニ、後カラ振返ッテ見レバ、少シ注
意シタカラ宜カッタノデヤナイガラウカト
云フモノガ實ハ相當アルト云フ情況デゴザ
イマスノデ、之ヲ防止スル爲ニハ、矢張り
有價證券業ヲ營ミマス其ノ人ガ所謂資力、
信用ニ於テマア出來ルダケノ者デナクテハ
ナラナイト、斯ウ云フ風ニ考ヘタ次第デゴ
ザイマス

○男爵福原俊九君 今ノ御話ヲ承リマス、
今度ハ許可ヲ受ケルト云フト、尙更其ノ者
ヲ信用スルコトニナルカラ、餘計引掛ルト
云フコトニナリハシマセヌカ

○政府委員(木暮武太夫君) 一應ハチヨッ
トサウ云フ風ニ見エマスガ、許可致シマス
ル場合ニ、先般來申シテ居リマス通り、色
色ノ資格カ何カラヨク考究致シマシテ、眞
面目ナ人ニ許可致シ、サウシテ同時ニ免
許致シマシタ者ニ對シテハ、一種ノ獨占
權ヲ與ヘマシタヤウナ形ニナリマスノデ
ゴザイマスカラ、色々ナ方法ニ於テ取引ヲ
致シマス者ノ利益ヲ保護スル意味カラ、監
督ヲ加ヘ或ハ營業保證金ヲ取ッテ置クト云
フヤウナコトヲ致シマス譯ナノデゴザイマ

ス、又勿論商工省ニ於キマシテ之ヲ免許致
シマシタシテモ、何カ商工大臣免許ト云
フヤウナ大キナ看板デモ掛ケテ、サウシテ
不當ニ自分ノ信用ヲ誇大ニシテ、不正ナコ
トヲ行フト云フヤウナ場合ニハ、又之ヲ監
督シテ、サウ云フヤウナコトヲサセナイヤ
ウニ致シマスデゴザイマスカラ、從來自由
營業ニヤラシテ置キマシタ時ヨリモ、之ヲ
免許ニシテ、當局ガ監督ヲ致シマス方ガ、
第三者ノ利益ヲ擁護スル上ニ於キマシテ
ハ、萬全トハ申シマセヌマデモ、幾分力進
ンダヤリ方デアラウト考ヘテ居ルノデゴザ
イマス

○男爵福原俊九君 御趣意ノ所ハ能ク分リ
マシタガ、ソレデスカラ、私ハ嚴選主義デ
ナケレバिकासガラウト思フ、ソレカラモ
ウ一ツ伺ヒマスガ、今現在各種ノ現物團ガ
ヤッテ居ルノハ、多クハ所謂差金取引、ソレ
ハ併シナガラ形ハ兎ニ角株ヲ渡シタコトニ
シテ、賣買シタコトニシテヤッテ居ルガ、實
際ハ差金取引デヤッテ居ル、ダガ、實際ハソ
レヲ見付ケルコトハムヅカシイデスガ、現
在ハ取締法ハナイケレドモ、警察其ノ他デ
謂ベテ居ルダラウト思ヒマスガ、其ノ實際
ノ狀況ハドンナモノデスカ

○政府委員(新倉利廣君) 實際ニ於キマシ

テモ、サウ云フ差金決済ヲシマス賭博行爲、
是ハ取締ッテ居ル譯ナノデゴザイマス、同ジ
差金決済ノ中ニモ、賭博ト所謂取引所相場
ヲ基準ニ致シマス取引所違反ト二ツゴザイ
マス、ヤリ方ニ於テソレ程違ヒハゴザイマ
セヌケレドモ、賭博行爲ニ付テハ取締ッテ居
リマス、實際問題トシテ此ノ取締ノ厲行ガ
困難カドウカト云フ點ニナリマス、非常
ニ困難デスト申上ゲテ宜カラウト思ヒマス、
ナカノ巧妙ニヤッテ居リマスモノデスカ
ラ、取締ノ完璧ヲ期スルト云フコトモ困難
ナ事情ガアルト思ヒマス、併シナガラ從來
ノヤウニサウ云フ賭博ヲシマシテ檢舉シタ
者ニ付キマシテモ、罰金ナリ其ノ他一應ノ
刑ガ濟ミマス、又直グニ同ジヤウナコト
ヲヤルト云フ狀態デ、何遍デモ同ジヤウナ
コトヲヤッテ居ル事情ガゴザイマス、今後ニ
於キマシテハサウ云フヤウナ賭博行爲ガア
リマス、有價證券業ト云フモノヲ營メナ
イコトニナリマス、ソレカラ從來ハ全ク自
由營業デゴザイマスカラ、誰ガ一體サウ云
フ有價證券業ヲヤッテ居ルカト云フコトモ、
警察方面ニ於キマシテモ從來注意シテ居リ
マセヌガ、今後ニ於キマシテハ斯様ナ免許主
義ニ依リマシテ、誰ガドウ云フ風ナヤリ方
ヲシテ居ルカト云フコトモ、相當明ラカニ

ナルドラウト思ヒマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、從來ヨリモサウ云フ賭博行爲ニ

ノ時ニ決ッテ居ッタモノデスカ、此ノ移轉税トノ關係ハドウデスカ

關スル取締ト云フモノモ相當程度ハ行ヒ得ル

○政府委員(木暮武太夫君) 有價證券移轉

デハナイカ、唯併シ完璧ヲ期スルカト云フ、斯ウ云フ御趣旨ニナリマス、甚ダ何デス

税ヲ取ルカラ、之ヲ免許ニシテ保護シナケ

ケレドモ、非常ナ巧妙ナ手段ヲ以テ潜ル者ガ絶無ト申上ゲル譯ニモ行カスカト思ヒマス

イマセヌ、商工省ニ於キマシテハ十年以前

○男爵福原俊丸君 ソレデ能ク分リマシタ

ヨリ此ノ問題ニ付テハ何トカシナクテハナ

ガ、私ハ困難ナコトニ思ヒマス、ナカノ今ノ取締ハムヅカシイノデ、許可サレテ、

ラヌデヤナイカト云フコトデ研究致シテ居

サウシテソレガ若シサウ云フ行爲ヲヤツタ時ニハ嚴罰スルト云フコトデナイト、ソレ

シ、色々各方面カラモ現在ノヤウニ年ニ數

ヲ大目ニ見テ行ケバ、ソレデハ今度ハ本當ニ許可スルノデスカラ、許可ヲ受ケズニヤツテ

態ヲ、唯刑法或ハ其ノ他ノ法規ノ罰則ダケ

居ル時ニハ罰スレバ宜イケレドモ、一遍許可シテ、許可サレタ者ガサウ云フコトヲヤ

デ取締ッテ居ルト云フノハ宜クナイデハナ

ル、私ハ矢張り相當ニヤルノドラウト思ヒマスガ、其ノ監督ハムヅカシイト思ヒマス、

イカト云フ議論ガ相當ニ最近強クナリマシ

ソレハソレデ宜シウゴザイマスガ、此ノ問題ノ出タ關係ハ、矢張り一方ニ於テ昨年カ

タモノデアリマスカラ、研究ノ結果本法案

ヲ移轉税ヲ取ルカラ、何トカシテ保護シテ

ヲ提出スルヤウニ致シタ次第デアリマス

ヤラナケレバナラヌトカ、資格ヲ與ヘナケ

○瀧川儀作君 私共武井委員カラ御質問ニ

レバナラスト云フヤウナ關係ガアルノデスカ、移轉税ノ出ル時ノコトハ私共ヨク承知

ナッタ趣意ト同ジ考ヲ持ッテ居リマスガ、唯

シテ居リマセヌガ、取締規則ヲ將來ヤルカ

ラテ監督ガ十分ニ出來テ居ルノデアリマスガ、

取引所ノ周圍ニ何百人、何千人ト云フ有象無象ノ人ガ集リマシテ、サウシテ取引所ノ

ノ監督ハ福原男爵ノ仰セラレタ如ク、到底事實上困難デナイカト思ヒマスルコトガ一

相場ヲ見テ、ソレヲ標準トシテ外デ所謂空相場ヲヤル、是ハナカノ複雑ナ關係デア

ツ、之ヲ取引所ヘ併合シテシマフト云フコトニナレバ、取引所ト官憲ト相俟ッテ之ヲ

リマシテ、到底デットシテ堪ヘラレス程、社會問題トシテモ激シカッタデアリマス、其

トニナレバ、取引所ト官憲ト相俟ッテ之ヲ監督スルノデアリマスカラ、少クトモ大都

ノ結果最近ハヤカマシク言ッテ、最近ハ警察署ノ方デ取締リマシテ、取引所ノ周圍ニサ

市ノ所在地ニ於キマシテハ稍、完全ナ取締ガ行ハレル、ソコデサウ云フ意見ヲ持ッテ居

ウ云フ者ガ出入リスルコトハ少クナッタノデアリマスケレドモ、ソレデモ今デモアチ

リマスガ、前回ノ時ニモ政府當局カラ御説明モアリ、何シロ五千人以上ノ取引員ガア

ラコチラニ三々五々集ッテ居ルノデアリマス、或ハ取引所ノアル所ハ勿論、取引

リマセウガ、其ノ中ニソレヲ包容スルト云フコトモ、取引所自體モ困難ナ場合ガアル

所ノナイ所ノ地方ノ都市デモ、矢張りサウ云フ「ステーション」ガ出來テ居リマシテ、

ト私モ實ハ信ジテ居ルノデアリマスガ、ソレニシマシテモ、取引所ノ取引員トスルコ

類似行爲ヲヤツテ居ルノデアリマス、社會問題トシテハ無論ノ話デアリマスガ、取引所

トニ致シマシテ監督スルコトガ一番便宜カト思ヒマス、ソレニ對シテ先刻政府委員ノ

ノ營業者ハ何萬圓ト云フ多額ノ保證金ヲ出シテ、何十萬圓ト云フ資本ヲ以テ此ノ事

御答辯ニ依リマス、將來ニ於テハ多少考慮スル御考モアルヤウニ思ハレマス、是

業ヲ經營致シテ居リマス關係上、被害者ノ立場ニ立ッノデアリマシテ、其ノ爲ニ過去

ハ言葉ハ輕イヤウデアリマスガ、取引所ノ陳情ニ基イテ、今立法上甚ダムツカシイモノ

何年カ引續イテ、殆ド毎年ノ如ク政府當局ニ陳情致シマシタ結果、此ノ法律ガ現レテ

デアリマスカラ、斯ウ云フコトニナッテ居リマスガ、將來我々ノ希望ヲ達セラレルモノ

來タノデアリマスカラ、無論他ノ御必要モアッテ御提出ニナッタト思ヒマスガ、兎ニ角

ト私ハ解釋致シテノ質問デアリマス、其ノ上カラ見マシテ、取引所ノ取引員中ニ所謂

此ノ方面ヲ保護スルト云フコトガ主ニナッテ居リマス、此ノ立場カラ考ヘマシテ、此

差金決済ヲヤラナイ純然タル實物取引員ナルモノガアリマス、是ハ相當有力ナ、皆サ

ンノ御承知デ、有名ナ方モアレバ、何レニシテモ相當資金ヲ持ツタ信用ノアル者ガヤツテ居リマス、是ハ東京ニ於テハ三萬圓ト云フ證據金ヲ納メテ居ルノデアリマスガ、此ノ間ノ當局ノ御説明ニ依ルト、一般ノ實物業者ニハ五百圓乃至五千圓程度ノ證據金ヲ取ル、斯ウ云フ御説明デアリマシタ、サウスルト、大都市ノ實物業者ガ五千圓納メルモノトスルト、取引所ニ於テ納メルモノガ三萬圓、茲ニ種類ハ違ヒマスガ、非常ニ矛盾ガ來ハシナイカト思フノデアリマスガ、其ノ邊ニ對シハドウ云フ御考デアリマセウカ、他日サウ云フ方面ニ近ヅケルト云フ御考デモアレバ、私共ハモウ絕對ニ質問ヲ要シナイノデアリマスガ、此ノ邊ヲチヨット伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(木暮武太夫君) 先程モチヨット御答ヲ申上ゲマシタ通り、取引所ヲ中心ニシテ、有價證券業者モ段々此處ニ連絡セシメテ監督シテ行クト云フコトニ付キマシテハ、將來ノ問題トシテ十分研究調査ヲ遂ゲタイト考ヘテ居リマス、差當リノ問題ト

ガアリマシテハ、何千人ト云フ有價證券業者ヲ出シテ居ルト云フ場合ニ、是ト取引ヲ致シマス者ノ利益ヲ保護スル意味カラ、一日モ

早く免許制ヲ布イテ、信用アリ、資力アリ、相當經歷ノアル人ヲシテ、斯ウ云フ犯罪、不正行爲ト云フモノヲ行ヒツ、アル有價證券業者ト取替ヘタイト云フ風ナ建前カラ、此ノ法律案ヲ出シマシタヤウナコトハ、御諒承願ヘルト思フノデアリマシテ、只今ノ御質問ニアリマスル取引所ニ一緒ニシテ監督スル方ガ大變便宜デハナイカト云フヤウナ御話デゴザイマスガ、有價證券業者ト云フモノハ非常ニ小サナ者モアリマスシ、取引ガ隨分少イ程度ノ人モアルノデハナイカ、又扱ヒマスモノモ、例ヘバ勸業債券ダケ扱フト云フ者モアルト云フコトヲ考ヘマスルト、今直チニ取引所ヲ中心トシテ隸屬セシメルト云フヤウナコトハ、將來ニ於テ篤ト研究スベキ問題ノヤウニ考ヘテ居リマスヤウナ譯デゴザイマス

○瀧川儀作君 今ノ問題ハ將來ニ於テ考慮スル餘地ガアルヤウニ思ハレマスノデ、其ノ質問ハ打切りマスガ、此ノ第十四條ノ二號デゴザイマス、「差金ノ授受ヲ目的トスル行爲」斯ウ云フ一項デアリマスガ、是ハ大審院ノ判決例ニ依リマス、賣買取引ノ最初カラ差金ノ授受ニ依リマシテ決済スルコトヲ目的ト致シマシタ取引ノミヲ意味スル

ト致シマシタナラバ、從來現物商ノ多數ガ、我々ガ憂ヒテ居リマス、慣行致シテ居リマス差金授受ニ終ル違法取引ガ隨分アルノデアリマスガ、最初ノ目的ハ實物取引ト云フコトデ進ムノデアリマス、サウ云フコトニナリマス、此ノ實物授受ヲ目的トセルト云フ此ノ一種ノ解釋ダケニ依ッテ判決サレル場合ニハ、モウ殆ド總テノ場合ニ本法ノ適用ヲ受ケナイヤウナ結果ニナリハシマイカト云フコトヲ案ズルノデアリマスガ、私ハマア法律ノコトハ素人デアリマスカラ、能ク分リマセスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、差金決済ヲヤルモノハ總テ矢張り取引所法ニ違法デアルト云フ意味ノ文章ナラバ、別段修正ヲ要シナイト思フノデアリマスガ、此ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(新倉利廣君) 十四條ノ第二號デゴザイマス、業務ニ關シ差金ノ授受ヲ目的トスル行爲ヲ爲シタルトキトゴザイマス、今ノ御話デ、差金ノ授受ヲ目的トスルト云フ風ニ其ノ目的ヲ掲ゲルト、サウ云フ目的デナシニ、差金ノ授受ヲヤル場合ガ出ルノデハナイカト云フヤウナ御趣旨ダラウト存ジマス、實際ノ或一ツダケノ例ヲ、極端ナ例ヲ取リマス、差金ノ授受ヲ目的トシテヤツタ行爲デアッテモ、結果ニ於テハ

差金ノ授受ニ終ラナイト云フモノガ考ヘ得ルノデアリマス、目的ハ差金ノ授受デヤツタ、サウ云フ目的ヲ以テ其ノ契約ヲシタ、併シナガラ結果ニ於テハ差金ノ授受ヲ必要トシナイ結果ニ終ツタ、斯ウ云フ場合ガ考ヘラレマス、又逆ニ差金ノ授受ヲ目的トシナイ、サウ云フ目的ヲ持タナイ行爲デアッテ、而モ結果ニ於テ差金ノ授受ヲ終ツタト云フモノガマア考ヘラレマス、要スルニ極端ナ例ヲ考ヘマスレバ、兩方ノ場合ガ考ヘ得ル譯デアリマス、併シナガラ實際問題トナリマス、恐ラク此ノ授受ヲ目的トシマシタ場合ト、ソレカラ目的トシナイガ、差金ノ授受ヲヤツタト云フ此ノ二ツノ場合ニ付キマシテハ、結果ニ於テハ大體同ジデヤナイガラウカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ト申シマスノハ、コ、デ第十四條ニ依リマシテ、免許ヲ取消シ、業務ヲ停止シ、或ハ制限スルト云フヤウナ相當強イ行政處分ヲ致シマスニハ、極メテ例外的ニ偶、一回位行ハレタモノヲ取リマシテ、直グニ免許ヲ取消ストカ、或ハ業務ヲ停止スルト云フヤウナコトハ恐ラクヤラナイデゴザイマセウ、ソレデ結局ハ其ノ人ガ多少サウ云フ所謂差金ノ授受ヲスルト云フヤウナコトガ屢、アルト云フ場合ニ行ハレルノデアリマシテ、其ノ屢、

アルト云フ場合ニハ、常ニソレガ差金ノ授受ヲ目的トシナイデ、唯結果ニ於テサウナツタト云フモノデハナシニ、矢張り屢、アルト云フ行爲ニシテ、差金ノ授受ヲ目的トシテ居ルト云フコトガ言ヒ得ルノデヤナイカ、サウ云フ意味ニ於キマシテ此ノ第十四條ヲ發動スル爲ニハ「差金ノ授受ヲ目的トスル行爲ヲ爲シタルトキ」ト云フ風ニ書イテ置イテ、今御話ノヤウナ場合モ含ムモノトシテ、實際問題トシテハ解シテ宜イノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘマス

○瀧川儀作君 能ク分リマシタ

○男爵福原俊九君 今ノ御質問ニ關聯シテ、私共常識のニ考ヘマス、白紙ノ、詰リ業者デアレバ、詰リ備付ノ帳簿ニハ實際授受シタコトニシテ置イテ、實際ハ差金ヲヤツテ居ルノガ多イノデハナイカ、其ノ邊實際ノ事情ハドウナンデスカ

○政府委員(新倉利廣君) 實際ハ福原男爵ノ御話ノヤウニ差金ノ授受ヲ目的トシテ居ル譯デアリマス、ソレデ形式ハ差金ノ授受ヲ目的トシナイヤウナ形式ヲ取ルト云フ處ガ一番多イノデアリマス、ソレデ現在ニ於キマシテモ、此ノ差金ノ授受ヲ目的トスル行爲ト云フノハ、普通通り言ヘバ、取引所違反デアリマスカラ、所謂違反行爲ニナル

譯デアリマス、有價證券業者トシテハ、形式ニ於テハ成ルタケ法律違反ニナラナイヤウナ形式ヲ取り勝チナンデアリマス、目的ニ於テハ併シソレハ差金ノ授受ヲ目的トスル場合ガ殆ド大部分ト申上ゲテ宜カラウト思ヒマス

○男爵福原俊九君 差金ノ授受ヲ目的トスル行爲ト書イテアルト、詰リ是ガアルカラ、訴訟ニナツタ時ニ所謂潜リ辯護士アタリノ好イ材料ニナル譯デ、結局處罰ヲ受ケヌコトニナリハセヌカ、結局ガ差金ノ授受ヲ詰リ目的トシテモ、シナクテモ、結果ガ差金ノ授受ニナツテ居ル行爲トシタ方ガ取締ノ上カラ言ヘバ、樂デアツテ、徹底シハセヌカト思ヒマス

○政府委員(新倉利廣君) 第十四條ハ主務大臣ガ免許ヲ取消シ、或ハ業務ヲ停止制限スルト云フコトデゴザイマスカラ、今ノヤウニ業者ガ形式ダケハ何カ差金ノ授受ニナラナイヤウナ形式ヲ取りマシテモ、我々行政官廳デ調べマシタ結果、ドウモ是ハ形式デハサウ云フ風ニヤツテ居ルケレドモ、事實ハ差金ノ授受ヲ目的トシテ居ルト云フコトニナリマスレバ、此ノ業務ノ免許取消、或ハ停止、制限ト云フコトハ行ヒマス、是ハ行政處分デゴザイマスカラ、其ノ點ハ御心

配ハナイト思ヒマス

○今井五介君 第七條ニ「有價證券業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ營業保證金ヲ供託スベシ」トアルガ、此ノ供託ヲスルノハ、強制或ハ自發的ニ營業ヲ廢メルトカ、其ノ他ノ事故ニ依リ廢メタ時ニ、其ノ保證金ヲ返還スル期限ガ此處ニ規定サレテナイガ、ソレハドウナリマスカ

○政府委員(新倉利廣君) 供託金ノ返還ニ關スル規定ハ、施行規則ニ於テ規定スル積リニ致シテ居リマス、第七條ニ「命令ノ定ムル所ニ依リ」トゴザイマスカラ、其ノ「命令ノ定ムル所」ト云フノデ、所謂施行規則ニ於テソレヲヤリマス

○男爵福原俊九君 此ノ取締ヲ施行スルニ於テ一體下ノ位ノ經費ヲ、豫算ヲ計上セラレマスカ

○政府委員(新倉利廣君) 本法ノ施行ニ要シマスル經費トシテハ、本省及地方廳ニ約六萬圓位ノ經費ヲ實ハ要求シテ居リマス、大藏省トノ折衝ガマダ確定致シマセヌカラ、六萬圓トハッキリ申上ゲル所マデ取運ビマセヌケレドモ、大體大藏省ニ於テモ其ノ程度ノ豫算ヲ支出シテ呉レル豫定ニナツテ居リマス

○男爵福原俊九君 マア五六萬圓程度ノ金

デハ、ソレヲ各府縣ニ割振リマスレバ、極メテ微細ノモノニナル、取締モ各縣デハ東京トカ地方トカ違フカモ知レマセヌガ、取締ニハドウ云フヤウナ徑路ニ依ツテ取締ルノデスカ

○政府委員(新倉利廣君) 此ノ取締ノ具體的方法ニ付キマシテハ、先ヅ第一段ト致シマシテハ、本法ニ基キマシテ各種ノ報告ヲ致サセテ居リマス、ソレデ營業ノ狀況、ソレカラ其ノ營業ノ仕方ト云フヤウナモノニ付マキシテハ、一般的ニハ其ノ報告ガ先ヅ完畢ニ致シマシテ、第二段ト致シマシテハ、個々ノ問題ニ付キマシテ矢張り報告ヲ取ル規定ニナツテ居リマス、是ハ報告ヲ求メマシテ監督スルト云フコトデゴザイマスガ、併シナガラソレデハ不十分デゴザイマスノデ、矢張り此ノ個々ノ人ニ付キマシテ或程度ノ調査ヲシナクテハナラヌガラウト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレデ個々ノ人ニ付テ調査スルト云フノニ、サウ一律ニ調査スルト云フコトハ、是ハ困難デゴザイマスカラ、例ヘバ東京デモ此ノ一流或ハ相當程度以上ノ資産信用ヲ持ツテ居リマスル者ニ付テハ、恐ラクサウ個々ノ者ニ付テ一々資産、ソレニ營業ノ内容ニ付テ調査スルト云フコトハ比較的少カラウト存ジマス、寧ろ個々

ノ者ニ付テ取締ル、資産信用ノ比較的ニ少
イ者ニ付テ取調ベルト云フコトニナリマス
ノデ、ソコデ矢張りソレガ爲ニハ專任ノ係
員ヲ置キマシテ、サウシテ有價證券ノ賣買
ニ付テノ知識ヲ有ッテ居ル者ガ取締リマセ
ヌト、唯漫然斯ウ云フ業者ヲ取締ルト云ヒマ
シテモ、ナカ／＼取締困難ドラウト思ヒマ
ス、ソコデ専門ノ者ヲ置キタイ、斯ウ云フ
事ヲ考ヘテ居リマス、ソレデ其ノ専門ノ者
ニ付キマシテモ、矢張り東京、大阪ト云フ
ヤウナ有價證券業者ガ非常ニ多イ處ハ、矢
張り専門ノ人モ澤山置キマシテ、其ノ他マ
ア主ナル所ト申シマスノハ矢張り業者ノ多
イ北海道トカ愛知縣、神奈川縣、新潟縣、
富山縣、靜岡縣、京都、岡山、廣島、兵庫
縣、斯ウ云フヤウナ所ハ矢張り有價證券業
者ガ非常ニ多ウゴザイマスカラ、サウ云フ
所ヘ係員ヲ置キマシテ、取締ルコトニ、監
督シテ行クト云フ方法ニヤッテ居リマス

○男爵福原俊九君 實際ノ取締ハ餘程厄介
デアラウト思フ、デ今ノ從ッテ經費ガ全體デ
五六萬圓位デハ本當ノ取締ハ出來ヌカラ、
結局形式ニナッテ、取締ト云フコトハマア餘
リ出來ナイデアラウ、ソコデ大阪取引所員組
合カラ來テ居ル先キ瀧川サンノ御話ノアッ
タ取引所所在地ノ有價證券業者、取引賣買

ヲ業トシテ居ル者ハ、其ノ地ノ株式取引員
トラシメルコト云フ、詰リ株式取引所員
ヲシテ、取引業者ヲ監督サセルト云フノガ
其ノ趣旨デアラウト思フ、サウスルト、矢
張り嚴正ニシテ、サウシテ取締官バカリ
ニサセズシテ、係員ニ責任ヲ負ハセルト云
フコトモ矢張り從ッテ必要デヤナイカト思
フ、是ハ唯別ニ御意見ヲ承ル譯デアリマセ
ヌケレドモ、サウ云フ陳情ヲ見テ、サウ云
フ風ニ感じマシタカラ、申上ゲテ置キマス
○委員長(子爵保科正昭君) 外ニ御質問
ガ……

○仁井田益太郎君 最近ニ提出ニナリマシ
タ有價證券引受業法案ト云フモノガアリマ
スガ、此ノ引受業法案ト有價證券業取締法
案トノ關係ヲ一應明カニシテ置キタイノデ
スガ、何レ是ハ大藏省ト御打合ノ上出來テ
居ルト思フノデスガ、而モ證券引受業者ガ
有價證券ノ賣買又ハ其ノ媒介ヲ爲スコトヲ
營業ノ一部トシテ居ルト云フヤウナ場合ニ
モ、此ノ有價證券業取締法ト云フモノハ適
用セヌト云フ御考デ出來テ居ルト思フノデ
スガ、ソレハ如何デセウカ
○政府委員(新倉利廣君) 有價證券引受業
法ニ於キマシテ、是モ矢張り引受業者ハ免
許ヲ受ケルト云フコトニナッテ居リマスガ、

此ノ有價證券引受業法ニ依リマシテ免許ヲ
受ケマシタ者デゴザイマシテモ、有價證券
ノ賣買又ハ媒介ト云フコトヲ業務ニ致シテ
居リマス者ハ、此ノ有價證券業取締法デ免
許ヲ受ケルトコトニ致ス積リデゴザイマス、
從ヒマシテ實際ノ例ヲ申シマスレバ、山一
ト云フモノハ有價證券ノ引受業ト有價證券
ノ賣買又ハ媒介ト云フコトヲ兩方ヤッテ居リ
マス、サウナリマスルト、山一ハ引受業法ニ
依ル免許ト有價證券業取締法ニ依ル免許ノ
方ト、兩方ヲ受ケルトコトナル譯デアリマス

○仁井田益太郎君 是ハドウモ後ニ問題ト
ナルト思ヒマスガネ、證券引受業者ト云フ者
ハ當然有價證券ノ賣買其ノ媒介ヲ爲スコト
ガ出來ルノデアッテ、ソレニ付テハ免許ガ要
ラナイノデスナ、デアルカラ、證券引受業
者トシテ有價證券ノ賣買又ハ其ノ媒介ヲ爲
スコトガ出來ルノデアルカラ、當然此ノ有
價證券引受業ノ方ハ拘束ハ受ケルケレドモ、
本法ノ適用ハ受ケナイト云フコトニナルノ
ガ本當ノ解釋デハナイデセウカ、多少ハ疑
ガアリマスケレドモ、私ハサウ解釋スルノ
ガ當然ト思フノデス、結局證券引受業者ト
云フ者ノ中ニハ有價證券業ト云フモノハ含マ
レテ居ルノデスカラナ、サウ解釋スルノハ
當然デヤナイカト私ハ思フノデスガ、是ハ

後ノ解釋ノ問題デアリマシテ、又政府委員
ノ只今ノ御答ノ通りニナルカドウカ、是ハ
別論ト思フノデスガ、而モ此ノ本法ヲ適用
シナイデ濟ムヤウニ出來テ居ルデスガ、ア
ラマシ是ト同ジ規定ガアルノデスカラ、其
ノ點カラ見デモ、有價證券引受業者ニハ本
法ハ適用シナイト云フ解釋ガ私ハ相當ダト
思ヒマスガ、唯私ノ問題トシテ居ルノハ、
此ノ有價證券業取締法ノ中ニアルモノデ、
アツチニナイモノガアル、例ヘバ前回ニ御
話ニナッタ同居者トカ家族トカ、戸主トカ、
雇人トカ云フモノハ本人ノ意思ニ出デザル
場合ニ、不正ノ行爲ヲシタ場合デモ本人ガ
責任ヲ負フト云フ規定ガアルノデス、斯ウ
云ツタモノハ向フニアッテモ宜イデヤナイカ
ト云フ感じガアルカラ、ソコデ問題ニシタ
ノデスケレドモ、是ハドチラニナルカ、此
ノ本法ガ向フノ方ニモ一部適用サレルカド
ウカ、私ハ有價證券業取締法ニ依ッテ免許ヲ
特ニ受ケル必要ハナイト思フノデス、有價
證券引受業者ト云フモノハ當然有價證券ノ
賣買及ビ其ノ媒介ヲ爲スコトガ出來ルノデ
アリマスカラ、其ノ引受業者トシテ……、
デスカラ、免許ハ無論本法ニ依ッテ免許ヲ受
ケル必要ハ少シモナイト私ハ思フ、若シ其
ノ筆法カラ云フト、矢張り五年間ハ始終此

ノ有價證券ノ賣買又ハ其ノ媒介ニ付テハ免許ヲ申請シナケレバナラス、斯ウナル、マア私ハサウデナイト思フノダガ、解釋問題デスカラ、マア何レニナルカ、是ハ他日ノ問題ト思ヒマスガ、兎ニ角政府委員ノ御説明ダケヲ伺ッデ、其ノ趣意ヲ明ラカニシテ置キタイト思フノデス

○政府委員(新倉利廣君) 只今仰セニナリ

マシタ點ニ付キマシテハ、有價證券業取締法ト有價證券引受業法ヲ制定シマスニ付キマシテ、多少實情モ取調ベマシタシ、ソレカラ大藏省トモ協議致シタノデアリマス、實情ヲ申上ゲマス、例ヘバ先程例ヲ引キマシタ山一ト云フヤウナ者ニ於キマシテモ、有價證券ノ賣買ト云フ業務ニ寧ロ附隨的ニ引受業ヲヤッテ居ルト云フヤウナ、目下ノ所デハサウ云フ實情デゴザイマス、尙有價證券引受業者ト云フノハ現在大體相當ノ資力ノ者ガ極ク少數ヤッテ居リマスノデ、サウ云フモノト有價證券業ノ取締ト云フモノヲ一ツニシタラドウカト云フヤウナ御考モ誠ニ御尤ナ點モアルト思ヒマスガ、唯我々ト致シマシテ、一番考ヘマシタノハ、何カ兩方ノ法規ノ爲ニ、業者ハ監督其ノ他ノ點デニ途ニ出テ、非常ニ迷惑スルト云フ場合ハ、是ハ絶對ニ避ケナクチャナラナイト云フ意

味デ、其ノ打合セモ十分能ク致シテ居リマス、併シナガラ業體自身カラ申シマスルト、必ズシモ有價證券ノ賣買媒介ト云フコト、引受ト云フコトトガ不可分ノモノデモナイヤウナ實情ニナッテ居リマスノデ、マア何レ或ハ後ノ機會ニ問題ニ爲サルノダラウト思ヒマスガ、實際問題トシテハ兩者ニ許可スルト云フコトデ支障ハナイヤウニ考ヘテ居リマス

○仁井田益太郎君 モウ一度チョット申上

ゲテ置キタイノデスガ、實際ハ有價證券ノ引受トカ或ハ募集ノ取扱ト云フモノハ、サウ頻繁ニアルモノデモナシ、又サウ云フコトヲ引受ケルコトガ必ズシモ出來ルトハ限ラヌカラ、常住ノ仕事トシテハ恐ラクハ有價證券ノ賣買又ハ其ノ媒介デアラウト思フ、デアアルカラコソ、有價證券引受業者ト云フ者ハ當然有價證券ノ賣買又ハ其ノ媒介ヲ爲スコトガ出來ルト云フコトヲ規定シテアル、デハアリマスガ、兎ニ角有價證券引受業者ト云フ者ハ資力モアルノデ、二百萬以上ノ株式會社デナケレバナラヌトカ、信用ノアル者デアアルカラ、詰リ有價證券引受業ニ付テ免許ヲ受クレバ、有價證券ノ賣買又ハ其ノ媒介ノヤウナ業務ヲ營ンデモ、大シタ弊害ノ生ズル場合ガナイダラウト云フ考デ、是ハ

有價證券引受業法ト云フモノハ出來テ居ルト私ハ考ヘルノデアリマスカラ、二重ニ免許ヲ受クルコトヲ要スルカ、ドウカ是ハ一ツ政府ニ於テ他日ノ爲ニ此ノ兩法案ガ出來タラ、御考ヲ願ヒタイト思フノデスナ、恐ラクハ私ハ解釋論トシテハ、有價證券引受業者ノ方ハ其ノ免許サヘ受ケレバ、當然有價證券ノ賣買又ハ其ノ媒介ニ付テハ免許ヲ受クルコトヲ要セヌト、斯ウ云フコトニナルモノト私ハ解釋シマスケレドモ、此ノ問題ハ他日ノ問題デアリマスカラ、ドウカ一ツ施行ノ際迄ニ能ク一ツ御考ヲ願ヒタイ、申シニクイコトヲ申上ゲマシテ、相濟ミマセヌガ、ドウカ御考ヲ願ヒタイ

○男爵福原俊九君 先程御尋シタコトト聯

關シテ、モウ一ツ御尋ネ致シマス、御尋スルコトヲ落シマシタガ、大阪ノ業者カラノ陳情書ノ中ニ「有價證券業者ニ對スル免許竝ニ其ノ監督ハ地方廳ニ於テ爲サル、ヤウ改メラレタキコト」ト云フコトガアリマスガ、私ハ之ニ對スル政府ノ御意見ヲ伺ッテ置キタイト思フ、私ハ斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル、詰リ免許ハ矢張り主務大臣ガスルト云フノハ、免許ヲ地方長官ニ許スト云フコトハ餘リ簡單ニナルカラシテ、主務大臣ガヤル、監督ハ主務大臣ガ假ニヤルコトニナッ

テ居ッテモ、實際ハ地方長官ニ委託スルコトニナラナケレバナラヌヤウニ思ヒマスガ、此ノ法案ハ本省直屬ノ監督者ヲ置イテヤルコトニナッテ居リマス、ドウ云フ趣意デスカ

○政府委員(新倉利廣君) 免許ニ付キマシ

テハ、仰セノ通りニ、是ハ主務大臣ガ免許スルノガ宜イト存ジテ居リマス、唯主務大臣ガ免許致シマスル際ニ、各業者ノ實情ト云フモノニ付キマシテハ、是ハ地方廳ノ意見ヲ十分ニ參酌スル必要ガアルト思フノデアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ地方廳ノ協力ヲ勿論期待シテ居リマス、ソレカラ監督ニ付キマシテハ、十四條ニゴザイマスヤウニ、免許ノ取消ヲスルト云フヤウナ場合ニ付キマシテハ、是ハ主務大臣ガ致スコトニナッテ居リマスルガ、其ノ他ノ例ヘバ十二條、十三條ニ「行政官廳」ト云フ風ニ書イテ居リマスルノハ、是ハ主務大臣及地方廳ヲ含ンデ居リマスノデ、監督ノ方ハ地方廳ニ十分御願シタイト、斯ウ考ヘテ居リマス知シテ居リマス、サウ解釋シテ居ッタノデアリマス

○山上岩二君 度々御話ニナッタ點デゴザイマスルガ、此ノ十四條ノ一トニ「ゴザイ

マス、是ハ現在ノ法規デモ大抵處罰シ得ルヤウニ考ヘマスルガ、ソレ以外ノコトデ相當御豫想ニナッテ居ルノデスカ、ドウデスカ

○政府委員(新倉利廣君) 第十四條ノ第一項ノ一デゴザイマスルガ、「業務ニ關シ詐僞ノ行爲ヲ以テ」云々ト云ヒマス點ハ、ソレハ刑法上ノ詐欺罪ヨリモ廣イノデゴザイマシテ、勿論刑法上ノ詐欺罪ニ該當スルヤウナモノハ含ンデ居リマスルガ、刑法上ノ詐欺罪ニ直接ナラナイト云フヤウナ行爲、或ハドウモ刑法上ノ詐欺罪ニナル虞ガアルト云フヤウナ行爲デモ此處ニ含ンデ居ル譯デゴザイマス、ソレカラ其ノ後段ノ「他人ニ交付スベキ金錢若ハ有價證券ヲ不正ニ領得シタルトキ」ト云ヒマスルノモ、刑法上ノ横領罪ニ該當スルモノヨリモ少シ廣イ譯デゴザイマシテ、必ズシモ横領罪ニ該當シナイヤウナ場合デモ、不正ニ領得スルト云フヤウナ場合ヲ含ムト、斯ウ云フ解釋デゴザイマス、ソレカラ二ノ方ノ業務ニ關シ差金ノ授受ヲ目的トスル行爲「ト云フノハ、所謂刑法ノ賭博罪及取引所法ニアリマスル取引所賭博ト云フモノニ大體該當スルノデゴザイマス

○山上岩二君 サウシマスト、不正ノ領得ト云フノハ、不正ニ利用スルト云フヤウナ場合ハ此ノ中ニ入ル、例ヘバ證據金ヲ預ッテ

居マシテ、其ノ人ノ賣買ヲシナケレバナラヌノヲ、其ノ證據金デ自分デヤル、サウ云フノモ其ノ中ニ入ル譯デスカ

○政府委員(新倉利廣君) ソレハ入ルト思ヒマス

○男爵今枝直規君 是ハ此ノ前質問ガアリマシタノデ、更ニ繰返サヤウデスカ、此ノ第十七條ノ中デ「法人又ハ人ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ」云々ト云フノガゴザイマスガ、此ノ主人デヤトカハ、或ハ小サナ店ナラバ兎ニ角、大キナ店デ家族ダトカ、同居人ダトカ、雇人トカ云フ者ヲ餘リ此處ニ書ク必要ハナイヤウニ思ヒマスガ、如何ナモノデゴザイマセウ、チョット私考ヘ違ヘテ居ルカ知レマセウ、チョット伺ヒタイト思ヒマス、餘リ家族ノ人迄モコンナ處罰ヲヤルト云フコトハ、何ダカ支那流ニ言ヒマス、九族ヲ亡ストカ何トカ云フヤウナ、ヤカマシイヤウナコトニモ考ヘラレマスガ、本人ダケノ處罰ニシテハドンドンナモノデアリマセウカ、チョット伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(木暮武太夫君) 前ニ仁井田博士カラ詳細ニ御質問戴キマシタ項デゴザイマスガ、從來、矢張り同居人或ハ家族ナドガ致シマシタト云フコトニ依ッテ、有價證券

業者ガ自己ガ指揮シナカッタト云フ理由デ無責任ニ逃レルト云フヤウナ場合モアル虞ガ随分アリマスノデ、サウ云フ自分ノ指揮ニ出デザル故ヲ以テ逃レヨウトスル無責任ナ場合ヲ押ヘル必要ガアルト、アルデハナイカト云フヤウナ譯デ、取締ノ徹底ヲ期スル意味ニ於キマシテ、一見酷ノヤウデアリマスケレドモ、色々ノ人達ノ行ヒマシタモノガ營業者ト何等カ關係アルラシク見エルト此處ニ條文ノ中ニ入レマシタヤウナ譯デアリマス

○男爵今枝直規君 サウスルト、是ハ體刑ハ科セナイノデスカ

○政府委員(木暮武太夫君) 左様デゴザイマス

○委員長(子爵保科正昭君) 外ニ御質問ゴザイマセスカ、ゴザイマセスカレバ……御異議ガナケレハ、コ、デ質問ヲ打切りマス、是ヨリ討議ニ移リマス

○瀧川儀作君 先回以來各方面カラ質問ガ出マシタガ、政府ノ御説明ニ依リマス、全然反對ノ點モ殆ドナイヤウニ思ハレマス、唯、今法文ニ完全ニ規定シテナイコトハ施行細則デヤラウト云フ考デアリマスガ、當業者ガ本來希望致シマシタ總テノ要望ノ點

ハ殆ド含マレテ居ルヤウナ御説明デアリマス、唯法文ダケ見ルト、少シ疑義ガナイデハアリマセスカ、サウ云フ意味合ニ於テ、問題ニ依リマシテハ再檢討ノ餘地ノアルモノト了解致シマシテ、本案ヲ賛成致シマス

○仁井田益太郎君 此ノ第八條ノコトデアリマスガ、有價證券業者ガ其ノ取引ニ關シ不正ノ行爲ヲナシタ場合ニデスカ、其ノ不正行爲ニ因ル債權ニ關シ、保證金ニ付テ取引者ガ他ノ債權者ニ先立ッテ優先辨濟ヲ受ケル、斯ウ云フ權利ガアルヤウニセナケレバ、第八條ハ不十分カト考ヘルノデアリマス、先程モ政府委員ノ御説明ガアッタヤウニ、ボロ株ヲ賣ルトカ云フヤウナコトハ頻繁デアアルノミナラズ、賣買等ニ事寄セテ金錢ヲ詐取スルト云フヤウナ場合モ相當ニ多ク起ルコトデアラウト思ヒマス、而モ本法ハ不正ノ行爲ヲ爲ス者ヲ取締ルト云フノガ根本ノ考ナンデスカラ、サウ云フ者ガ多クアルカ或ハ少クアルカハ別論トシマシテモ、サウ云フ場合ニ於テ營業保證金ニ依ッテ取引者ガ辨濟ヲ受ケルコトガ出來ルヤウニシナケレバ、一番大キナ者ヲ逃スト云フコトニナルノデスカラ、是ハ是非加ヘテ然ルベキデアラウト思ヒマス、政府委員モ詰リ不正行爲ニ因ッテ取引者ニ損害ヲ及シタ場合ニ、保

證金ニ依ッテ取引者ガ辨濟ヲ受ケルコトガ出來ルト云フコトニハ本條デハナラヌト云フコトヲモウ既ニ言ハレテ居ルノデアリマス、

取引所法ニハ、第八條ト同ジヤウニ不正ナ行爲ニ因ッテ業者ガ取引者ニ損害ヲ及シタ場合ニ、保證金ニ依ッテ取引者ガ辨濟ヲ受ケルコトガ出來ルト云フ規定ニハナッテ居ラナイノデアリマス、詰リ不十分ナシデ、矢張り此ノ點ニ付テハ大審院ノ判例モアルノデ、取引所法ノ二十條ノ二ト思ヒマスガ、ソレニハ矢張り委託契約ニ違反シタ場合ニ於ケル債權ニ關シテノミ保證金ニ依ッテ辨濟ヲ受ケルコトガ出來ルンダ、斯ウ云フ趣旨ノ判例モアル位デアリマシテ、明カニ取引所法ノ二十條ノ二ト云フモノハ、不正ノ行爲ニ因ル損害賠償ノ債權ハ保證金ニ依ッテ辨濟ヲ受ケルコトガ出來ナト云フ趣意ヲ大審院ノ判例ハ認メテ居ルノデアリマス、念ノ爲ニ書イテ置キマシタガ、サウ云フ譯デスカラ、ドウモ是ハ不十分ト思ヒマスカラ、成ルベク其ノ第八條ノ文字ヲ活ス趣意デ、私此處ニ刷物ヲ拵ヘテ來マシタカラ、ドウカ一ツ御覽ヲ願ヒタイト思フノデス、之ヲ一應御覽下スツタ上デ尙一ツ色々御話シタイト思フノデスガ、洵ニドウモ恐入リマスガ、ドウゾ一ツ御廻シ下サイ

○委員長(子爵保科正昭君) チョット速記ヲ止メテ、懇談會ヲ開キマス
午後二時五十四分速記中止
午後四時十九分速記開始

○委員長(子爵保科正昭君) 是ヨリ筆記ヲ始メマス、前ニ續イテ討論ヲ續行致シマス

○仁井田益太郎君 此ノ第八條ハ不正ノ行爲ニ因ル債權ニ關シテ取引者ガ營業保證金ニ付キ優先辨濟ヲ受クル權利ヲ有スルト云フコトガ明カデアリマセヌカラ、即チ其ノ點ガ缺ケテ居リマスカラ、其ノ點ヲモ含ムヤウニ左ノ通り修正スル方ガ宜カラウト云フ意見ヲ提出シマス、即チ

第八條有價證券業者ト其ノ業務ニ關シ取引ヲ爲シタル者ハ其ノ取引ニ關シ生ジタル債權ニ關シ前條ノ營業保證金ニ付他ノ債權者ニ先チ辨濟ヲ受クルノ權利ヲ有ス

○委員長(子爵保科正昭君) 只今出マシタ修正案ニ對スル討論ヲ許シマス

○男爵福原俊九君 私モ今ノ御修正ノ方ニ贊成致シマス、其ノ理由ハ取引所法ニハ前ノ原案ノヤウニアリマスケレドモ、取引所ノ方ハ相當ナ資格者デアリ、此ノ方ハソレヨリ餘程低級デアルカラ、自然不正行爲、契約ニ違反セズニ不正行爲ヲヤルコトガ屢アルト思ヒマスカラ、大體ニ於テ今度ノ取

縮規則デ業者ヲ許可制度ニ依ッテ其ノ許可ハ嚴選スルト云フコトガ必要デアラウト思ヒマスカラ、尙更斯ウ云フ點ニ對シテモ今ノ趣旨ノヤウニサレルコトガ萬全デアルト考ヘテ、此ノ修正ニ贊成致シマス

○委員長(子爵保科正昭君) 只今贊成意見ガ出マシタ、就キマシテハ政府ノ御意見ヲ伺ヒマス

○政府委員(新倉利廣君) 政府ト致シマシテモ只今ノ修正デ行クコトガ適當ト思ヒマス

○瀧川儀作君 政府ガサウ云フ意見デアリマシタナラバ、私ハ前ニ原案贊成デアリマシタガ、改メテ修正意見ニ贊成致シマス

○委員長(子爵保科正昭君) ソレデハ是ヨリ外ニ御意見ガナケレバ、採決ニ進ミマス、只今提案サレマシタ修正案ニ付キマシテ御同意ノ諸君ノ舉手ヲ願ヒマス

(議員舉手)

○委員長(子爵保科正昭君) 全會一致ト看做シマス、然ラバ第八條ヲ修正致シマシテ、他ノ箇所ハ原案通り致シマスガ、ソレデ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(子爵保科正昭君) 御異議ナシト認メマス、是ニテ散會致シマス

午後四時二十五分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵保科 正昭君
副委員長 仁井田益太郎君
委員 公爵岩倉 具榮君
男爵今枝 直規君
男爵福原 俊九君
今井 五介君
瀧川 儀作君
武井覺太郎君
山上 岩二君

政府委員

商工政務次官 木暮武太夫君
商工省商務局長 新倉 利廣君